

平成 22 年 8 月 10 日

“電気学会の創立者” 志田林三郎博士顕彰会の設立総会を 博士の故郷・多久市で開催いたします

志田林三郎博士顕彰会
会長
多久市長 横尾俊彦

志田林三郎博士（1855～1892 安政 2～明治 25）は日本初の工学博士号を授与され、電気工学者・技術官僚・教育者として活躍し、また電気学会の創立を主導した、まさに我が国の電気工学の祖といえる人物です。明治 21 年の第 1 回電気学会通常会の際、志田博士が行った演説で語られた「将来可能となるであろう十余のエレクトロニクス技術予測」は、現在ほとんどが実現していることから、その幅広い知識・高い見識に裏付けられた先見性がうかがえます。

そして現在、我が国の電気工学・技術は世界に誇るものとなり、生活に必要なありとあらゆるものが電気によって供給されています。世界に稀に見る我が国の驚異的な発展は、このような高度情報化社会の到来と技術の発展を 120 年も前に予見し、その基盤となるインフラ整備や電気学会を設立するなど人材育成のために尽力した志田博士の功績によるものが大きいと考えます。

平成 20 年に創立 120 年を迎えた電気学会では、現在の電気技術の発展に寄与した人物や発明などを顕彰するため、顕彰制度「でんきの礎」を設けられ、志田林三郎博士と博士の事績を紹介している当多久市先覚者資料館が第 1 回顕彰を受けました。

そこで、博士の故郷である当多久市においても、博士の功績をたたえ、広く市民の皆様や子どもたちにも郷土の偉人である志田博士に親しみ、ふるさと多久を誇りにしてもらいたいという思いから「志田林三郎博士顕彰会」を設立し、“志田林三郎博士の力を借りて多久を元気に”する活動を行っていくことといたしました。

下記のとおり、設立総会を開催いたします。当日は多久市のご出身である電気学会前会長 松瀬貢規先生の基調講演もございます。

今後とも、「志田林三郎博士顕彰会」へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

記

期 日	平成 22 年 8 月 19 日（木）	16：00～
場 所	多久シティホテル松屋 （多久市北多久町砂原 TEL0952-75-6666）	
基調講演	松瀬貢規 明治大学教授 演題「志田林三郎先生と電気工学」	
懇 親 会	18：00～	

お問い合わせ先：

志田林三郎博士顕彰会事務局 〒846-0031 多久市多久町 1843-1 東原庫舎内
TEL 0952-75-5112 担当：楠田